

(2) 次の文章の（　　）内にあてはまる最も適切な語句を選択し、ア～オの記号で答案用紙に記入しなさい。

1. 当期中の売上に対する売掛金が貸倒れになった場合には、貸倒れ額を売掛金勘定から減額するとともに（　　）勘定で処理する。
ア. 貸倒引当金 イ. 貸倒引当金繰入 ウ. 貸倒引当金戻入
エ. 貸倒損失 オ. 債却債権取立益
2. 会社法では、配当を行うつど、一定の限度額に達するまで（　　）を積み立てることを定めている。
ア. 現金 イ. 配当金 ウ. 資本金
エ. 利益準備金 オ. 繰越利益剰余金
3. 決算整理前の残高試算表の貸方に存在することがない勘定科目は（　　）である。
ア. 当座預金 イ. 土地 ウ. 資本金
エ. 売上 オ. 仮受金
4. 法人税、住民税及び事業税の中間納付を当座預金で行った場合、納付額を（　　）勘定の借方に計上するとともに、当座預金勘定の貸方に計上する。
ア. 法人税、住民税及び事業税 イ. 租税公課 ウ. 前払金
エ. 未払法人税等 オ. 仮払法人税等